



芸術文化振興基金助成事業

坂田誠山 音楽監督・指揮

ドルチェ邦楽合奏団グループ 周年記念演奏会

千葉邦楽合奏団15周年・東京邦楽合奏団10周年・神奈川邦楽合奏団5周年

2013年8月18日(日) 13:30開演 (13:00開場)

東京文化会館 大ホール

(JR上野駅 公園口・東京メトロ上野駅7番出口・京成上野駅 正面口)

入場料 ¥2,000 (一般) ¥1,000 (学生)
高校生以下無料



東日本大震災で亡くなられた方々への祈りと、明日への希望をこめて

邦楽組曲 ほんとうのさいわいをさがして

～宮沢賢治作「銀河鉄道の夜」より～

脚本・作詞・演出：西田豊子 作曲：石井由希子

プログラム

1. 新作初演 ドルチェ周年記念メドレー 作曲：石井由希子
2. 新作初演 尺八独奏曲〈題未定〉 作曲・尺八独奏：坂田誠山
3. 尺八協奏曲 風雅 作曲：石井由希子
4. 新作初演 ジュニアの夏祭り☆よさこいソーラン節 編曲：石井由希子
5. 新作初演 邦楽組曲 ほんとうのさいわいをさがして

助 演

ソプラノ：飯島香織 アルト：三橋千鶴 テノール：斉藤忠生 バリトン：佐藤光政
 コーラス：混声合唱団「追分」(合唱指導 追分基)
 三 絃：野澤徹也 打楽器：篠田浩美・若月宣宏

■チケット取扱：東京文化会館チケットサービス (03-5685-0650)、各合奏団事務局及び出演者

■お問い合わせ先：ドルチェ邦楽合奏団グループ本部 千葉市稲毛区緑町1-2-17 TEL 043-241-3142 info@chiba-en.com
 本部事務局(森 佳久山) TEL 03-3712-9493 千葉邦楽合奏団(出沼智山) TEL 043-484-8788
 東京邦楽合奏団(大川礼峰山) TEL 0480-58-8139 神奈川邦楽合奏団(堀 保之) TEL 0462-34-6554

■主催：ドルチェ邦楽合奏団グループ・東京邦楽合奏団

■後援：岩手県教育委員会 / 千葉県教育委員会 / 花巻市 / 稲城市 / 多摩市 / 芸術文化による復興推進コンソーシアム
 NPO法人青少年の心を育てる会 / NPO法人全国邦楽合奏協会 / 国際ソロプチミスト武蔵野
 毎日新聞 / 読売新聞 / 東京新聞 / 旬邦楽ジャーナル

ドルチェ邦楽合奏団グループ周年記念演奏会を迎えて

千葉邦楽合奏団15周年・東京邦楽合奏団10周年・神奈川邦楽合奏団5周年

代表：坂田誠山

千葉邦楽合奏団を結成し、活動を始めたのは1997年4月、「邦楽って楽しいの?」「もちろん!」をモットーに、石井由希子の作品を中心に活動を進めて参りました。常に念頭にあるのは、ご来場のお客様に邦楽を楽しんで頂きたいと言う事でした。この事の積み重ねが、すみだトリフォニー大ホールで開催した前回の周年記念演奏会の大成功を生んだのでしよう。

今回は、一昨年東日本を襲った大震災で被害を被られた方々への追悼と復興支援を大きなテーマとして掲げています。

第一部最初の曲は、今までの活動の中で生まれた石井由希子の作品の中から数曲を選び、過去を振り返りながらのメドレーから始まります。2曲目は震災で亡くなられた方々への手向けの曲として尺八独奏曲を創作いたしました。3曲目の尺八協奏曲に続き、一部の最後は、ジュニア参加によるメドレーです。よさこいソーランから始まり、震災復興支援の曲として作られたエグザイルのライジングサンで締めくくります。3年前に千葉で取り上げたジュニアによる演奏はとても好評でした。その後各チームでも取り上げ、それぞれが盛り上がりを見せています。今回は合同による演奏で、迫力のある演奏を披露してくれるでしょう。子供達の颯爽とした晴れ姿をお楽しみ下さい。

第二部は、宮沢賢治の幻想的な美しさと敬虔で哀切な祈りを湛える名作「銀河鉄道の夜」を題材に、東日本大震災で亡くなられた方々への鎮魂を重ね、明日への希望をこめて新たに創作し初演いたします。作品は、賢治の終生のテーマであった「ひとびとのほんとうのさいわい」への希求を軸とする物語を、歌と朗読と邦楽器演奏による歌物語として構成されています。4人のソリストによるアリアやデュエット、そして3、4重唱から合唱団との共演など、和と洋、繊細さとダイナミズム、ドラマ性と音楽性がぶつかり合いながら調和して進行します。

前作品「竹取ものがたり」より、編成も演奏人数も舞台も一回り大きい規模となっております。

万障お繰り合わせの上ご来場賜りますようよろしくお願い申し上げます。



竹取ものがたり

○出演者プロフィール

坂田誠山(指揮・尺八ソロ)



尺八界の一方の雄。世界民族音楽コンクール受賞以来35年にわたり国際的に活動。その迫力ある演奏と同時に、邦楽合奏の指揮など楽界での信望も厚い。ヨーヨー・マ、堤剛など国際的ソリストとの共演も多い。98年『オーラJ』を結成、代表を務める。アマチュア邦楽合奏団運動にも貢献中。11年(公社)日本尺八連盟会長に就任。

佐藤光政(バリトン)



東京芸術大学音楽学部卒業。第42回日本音楽コンクール声楽部門第1位受賞。クラシック音楽のみならず、ポピュラー音楽の分野にも活動を開始。様々な音楽を最高の演奏で聴かせるエンターテナー、幅広いレパートリー、熱唱するステージには定評がある。第18回ジローオペラ賞を受賞。現在、二期会、日本音楽舞踊会議、日本オペラ協会等の会員。

飯島香織(ソプラノ)



東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院オペラ科修了。学部卒業時に松田トシ賞、アカンサス音楽賞を受賞。第71回日本音楽コンクール声楽部門入選、木下賞を受賞。藝大大学院オペラ《フィガロの結婚》のスザンナ役を演じオペラデビュー。ドイツ・シュレスビヒホルシュタイン音楽祭、カナダ・ケベック博覧会にNHK伝統和楽団の一員として参加し好評を博した。

混声合唱団「追分」

混声合唱団「追分」は、前回のドルチェグループ周年記念の「竹取ものがたり」の合唱の依頼を受け、千葉県市川市合唱連盟に所属する三団体(女性合唱団コール・ベル、市川混声合唱団、混声合唱団リベラーレ)有志により結成された合唱団です。この合唱団の指導者追分基氏はバリトン歌手として活躍の傍ら、永年合唱の指導にも携わり、ソロ、重唱、合唱と多様な表現に対応する集団を、ユニークな指導により形成しており、オペラアリア、重唱を歌うメンバーも多い。今回も前回に続き有志により再結成された合唱団です。

三橋千鶴(メゾソプラノ)



初リサイタル「クルト・ワイルの夕べ」を皮切りに、次々とワイル作品を手がけ、その筋の研究者から高い評価を受けている。オペラ以外にもキャバレーソングにも力を入れている。朗読の依頼も多い。変幻自在なヴォーカルスタイルは今までのオペラ歌手にはない領域を開拓している。洗足学園音楽大学准教授、二期会会員、東京室内歌劇場会員。

斉藤忠生(テノール)



たぐいまれな演技力と表現力で、キャラクターテノールの第一人者として定評がある。故立川清登にその才能を認められ、71年二期会公演「こもり」でデビューを果たした。それ以後、特に、小澤征爾指揮の「ホフマン物語」では、アンドレなど4役を見事にこなし話題となった。オペレッタ、ミュージカルにも数多く出演しているが、テレビドラマ等にも多数出演、最近ではウィンナーロードに取り組んでいる。

